

外国の方向け日本語ボランティア入門講座 実施報告書

主催：横浜市国際交流協会 (YOKE)

この講座は、自分の日本語学習経験を活かして日本語学習支援をしたいと思う外国人の皆さんが、地域で活動するためのお手伝いをする講座です。3年目の今回は、対面形式で行いました。

YOKEでは、2011年度から日本語学習経験のある外国の方と日本人と一緒に作る日本語教室を目指して、日本語教室の体験研修を行ってきました。その過程で、外国の方が支援者として教室に入ることにより、教室がもっと豊かになることが分かりました。そのような背景のもと、日本語学習支援をしたいと考える外国人の皆さんの後押ししようと、この講座を企画しました。

今回の講座では、受講者が自身の日本語学習経験を振り返りながら、日本語学習支援で必要なことについて話し合ったり、日本語学習支援の形について話し合ったりする中で、学習経験者ならではの「強み」を見つけるなど、日本語ボランティア活動への理解を深めました。

講座を終え、受講者からは「すぐにでもボランティア活動を始めたい」という声があがっていました。

今後もより多くの方が地域で活動できるよう、サポートをしていきます。



受講者の感想

- ・参加者のいろいろな日本語の勉強方法を知りました。自分のたりない所も感じました。
- ・日本語を話す機会が少ないので、たくさん勉強になりました。
- ・色々な友達に出会い、ボランティアのことでだけでなく、いろいろ勉強になりました。
- ・模擬授業はとてもよかったです。授業中では勇気をもらいました。
- ・日本語を教えるのは簡単ではないです。でも経験は大切だと思います。そう思いがある人への活躍できる場を作って欲しいです。
- ・将来は自分でボランティア団体を作りたいと思いました。

テーマ

- 第1回 日本語学習支援とは？
- 第2回 理想の日本語教室について話し合おう
- 第3回 日本語学習支援をしてみよう！

講師

チェ ヨンソン
崔 英善さん (大学兼任講師)

日時

2022年11月9日・16日・30日 (水)
全3回 13:30~15:30
*他に地域日本語教室を見学 (11月10日~11月15日)

場所

横浜国際協力センター6F 共用会議室

対象

- ・横浜に住んでいる人、横浜で働いている人、学校に通っている人
- ・日本語学習経験を持つ人で、日本語学習支援に関心がある人

参加者数

7人 (のべ20人)
(中国4人, タイ1人, ペルー1人, ロシア1人)

主催

公益財団法人横浜市国際交流協会 (YOKE)



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama Nihongo Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！



外国の方向け日本語ボランティア入門講座 実施報告書

主催：横浜市国際交流協会 (YOKE)

第1回
日本語学習
支援とは？11/9 (水)
13:30~15:30

講師の進行により、受講者の皆さんが自分の日本語学習経験について振り返りました。どんな教室でどのような支援を受けたか、その時に難しかった・困ったことは何だったか、どんな支援を受けて、それはどうだったかなど話し合いました。

日本語学習で難しかったこと

- ・ 外来語や日本人的な言い回し
- ・ ニュアンス
- ・ 日本語能力試験

講師の話：

自身の日本語学習経験と、その後の日本語ボランティア経験から感じたこと。日本語ボランティアは楽しく、また、問題解決のためには外国人が自分達で取り組む必要性を感じたそうです。これから日本語ボランティア活動を始めたい人へのアドバイスもありました。



第2回に向けて

第2回の前には、地域の日本語教室の見学があります。自分自身の体験で困ったときはどのようにして克服していたかなどを振り返り、実際に教室を見学して、自分だったらどんなサポートができるのか、考えることとしました。

地域日本語教室4団体5教室を見学しました。7人全員参加。(11月10日~11月15日まで)

第2回
理想の日本語
教室について
話し合おう11/16 (水)
13:30~15:30

第2回では、見学を通して気付いたこと、感じたことや印象をみんなで共有しました。「1対1の教室では、学習者の要望に合わせてテキスト、チラシ、小説などを使って学習していました。発音が上手くできず困っている人もいました。」など、さまざまな側面から、教室活動を観察していました。

見学のポイント(講師から)
教室の雰囲気/学習者・支援者は何に困っていたか/自分の学習経験からどんなことができるか

見学の感想を踏まえ、日本語を勉強する必要性・言語が分かるとできること、教える・支援するための心構えなどについての話がありました。

話し合いを通じて、教室に通う学習者の目的はさまざまでも「良好な人間関係を築くために日本語を勉強する」ことは共通ではないか、という気付きもありました。そして、日本語学習支援の始め方・実践的な活動方法の紹介がありました。第3回では模擬授業を行います。自分が思っている理想な教室を想像しながら、受講者同士が互い学習者になり、活動を体験します。



テーマを自由に選んで、一人15分、4人が模擬授業を行いました。

第3回
日本語学習
支援をして
みよう11/30 (水)
13:30~15:30

模擬授業後には、講師から具体的なアドバイスがありました。

例えば、テーマ「鍋料理」の模擬授業について。

- ・ 冬という季節に合わせた単語を入れていて良かった
- ・ 対象者を決めると良い。
- ・ 話しことば、書きことばや同音異語などを普段から整理しておく、役にたつ。

講座修了時、受講者からは「日本語を教えることは容易ではないが、経験を積むことが大切だと思った」などの率直な感想がありました。

今後、参加者の皆さんが地域で活動できるよう、YOKEもおしゃべり交流会などに一緒に取り組む予定です。

よこはま日本語学習支援センター
Yokohama Nihongo Support Center<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！